

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|----------------------------------|
| 事業名 | いくさかバンブープロジェクト |
| 事業主体 (連絡先) | 生坂村 東筑摩郡生坂村5493番地2 |
| 事業区分 | (6)産業振興、雇用拡大に関する事業(農業の振興と農山村づくり) |
| 事業タイプ | ソフト・ハード |
| 総事業費 | 4,081,173円(うち支援金:3,068,000円) |

事業内容

生坂村における森林面積は総面積の約8割を占め、その内の約100haが竹林であるが、竹材の需要低下や所有者の高齢化等により、そのほとんどが放置された竹林となり、山林や田畑を侵食し荒廃化の原因となっている。

しかしながら、竹林を整備するには大きな労力が必要であり、人口減少・少子高齢化の状況の中、所有者や地域住民が人力で整備を進めていくことは非常に難しい状況であった。

こうした状況を改善するため、当事業により高い処理能力を持った粉砕機を導入し、住民や地域団体等へ貸し出しを行ったことで、伐採した竹を林内に放置せずに処理することができるようになり、効率的な竹林整備へと繋がった。



【機械取扱講習会の様子】

【目標・ねらい】

- ①作業環境の確立、労力の軽減
- ②竹林整備のきっかけづくり
- ③竹パウダーの有用性の検証

事業効果

- ①支援金を活用して竹粉砕機を整備したことで、作業に伴う負担を軽減しながら効率的な整備を行うことができるようになった。令和4年度は2件の団体へ貸出をしたことから、高齢化する地域団体の整備意欲向上へと繋がった。
- ②竹林整備講習会を開催し竹の基礎知識を深め、併せて機械を安全に利用するための講習を行ったことで、竹林整備を始めるきっかけに繋がった。
- ③竹パウダーの効果についてはインターネット等で目にすることもあったが、実際に村内圃場において検証したことで、有用性を身近に感じることができ、地域住民の関心を得ることができた。

※自己評価【B】

【理由】

機械の導入により、今後作業をしていく環境が整えられた。
竹パウダーについては有用性を示したことで、地域住民の関心を得ることができた。

今後の取り組み

作業環境を確立したことで、今後住民の積極的な利用が期待される。今後、講習会を定期的で開催し、さらなる利用促進を狙う。併せて竹パウダーの有用性について得られた結果をもとに検証を重ね、地域住民の関心をさらに深めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある